

練習問題編 社会保障

練習問題 A 2-52

社会保険と社会扶助の基本的性格や両者の関係に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 社会保険は、貧困の発生に対して事後に対処するための制度であり、救貧的機能を有している。
- 2 社会扶助方式の長所は、社会保険方式に比べて給付の権利性が強く、受給する際にステイグマが伴わない点である。
- 3 公的扶助の給付は、社会保険等による各種の所得保障に係る給付に先行させるのが原則である。
- 4 社会保険の給付の開始は申請に基づくが、社会扶助は事故の発生に伴い自動的に給付が開始される。
- 5 我が国の生活保護法では、一般扶助主義を採用しながら、資力調査によってその要件を確認している。

練習問題 A 2-5 2

社会保険と社会扶助の基本的性格や両者の関係に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 社会保険は、貧困の発生に対して**事前**に対処するための制度であり、**防貧的**機能を有している。
- 2 **社会扶助方式**の長所は、**社会保険方式**に比べて給付の権利性が強く、**受給する際にステイグマが伴わない点**である。
逆!
- 3 公的扶助の**給付は**、社会保険等による各種の所得保障に係る給付に先行させるのが原則である。
逆!
- 4 社会保険の**給付の開始は申請による**が、**社会扶助は**事故の発生に伴い自動的に給付が開始される。
逆!
- 5 **我が国の生活保護法では、一般扶助主義を採用しながら、資力調査によってその要件を確認している。**

一般扶助主義：能力や原因に関わらず。⇔制限扶助主義

練習問題E 1-51

「平成30年度社会保障費用統計」（国立社会保障・人口問題研究所）の内容に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1 2018年度（平成30年度）の社会保障給付費の総額は、110兆円を超えている。

2 2018年度（平成30年度）の社会保障給付費の対国民所得比は、20%を超えていない。

3 社会保障給付費全体に占める高齢者関係給付費の割合は、2006年度（平成18年度）以降、一貫して上昇が続いている。

4 社会保障給費の部門別推移をみると、1980年度（昭和55年度）までは「医療」より「年金」の方が大きく、その後高齢化の進展により「医療」の方が大きくなった。

5 2018年度（平成30年度）の社会保障給付費の内訳を政策分野にみると、「保健」が全体の5割を占めて最も大きい。

練習問題 E 1 - 5 1

「平成30年度社会保障費用統計」（国立社会保障・人口問題研究所）の内容に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1 2018年度（平成30年度）の社会保障給付費の総額は、110兆円を超えている。 約 129兆円

2 2018年度（平成30年度）の社会保障給付費の対国民所得比は、20%を超えていない。 30.06%

3 社会保障給付費全体に占める高齢者関係給付費の割合は、2006年度（平成18年度）以降、一貫して上昇が 微増減で推移

4 社会保障給付費の部 逆! 移をみると、1980年度（昭和55年度）までは「医療」 ← 「年金」の方が大きく、その後高齢化の進展により「医療」 → の方が大きくなった。 年金!!

5 2018年度（平成30年度）の社会保障給付費の内訳を政策分野にみると、「保健」が全体の5割を占めて最も大きい。

高齢!!が46%、保健は33.6%

練習問題 B 2-53

事例を読んで、年金制度に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

Dさん（40歳、女性）は、20歳の時、父親が死亡して家業（洋菓子店）の経営を引き継ぎ、20年間働いてきた。夫は事情があって就職せず、家事と16歳の息子の世話をしている。Dさんは、店の経営が苦しかった4年間、国民年金の保険料免除手続きを行ったが、納付期間は10年間ある。この数年間は経営が軌道に乗り、保険料も納付していたが、配達途中の交通事故で障害を負い、働くことが困難になってしまった。

- 1 Dさんの被扶養配偶者と認められれば、Dさんの夫は国民年金の第3号被保険者となる。
- 2 Dさんが保険料を納付したのは10年間で、加入期間20年の3分の2に満たないため、障害基礎年金を受給できない。
- 3 Dさんが1級の障害基礎年金を受給することになった場合、その額は老齢基礎年金の満額の1.25倍となる。
- 4 Dさんの障害が国民年金法に定める障害等級に該当しない場合でも、障害手当金を受給できる場合がある。
- 5 Dさんの娘は義務教育を修了しているため、受給する障害基礎年金には、子の加算はない。

練習問題 B 2-53

事例を読んで、年金制度に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

Dさん（40歳、女性）は、20歳の時、父親が死亡して家業（洋菓子店）の経営を引き継ぎ、20年間働いてきた。夫は事情があって就職せず、家事と16歳の息子の世話をしている。Dさんは、店の経営が苦しかった4年間、国民年金の保険料免除手続きを行ったが、納付期間は10年間です。この数年間は経営が軌道に乗り、保険料も納付し、この数年間はで障害を負い、働くことが困難になってしまった。

Dさんは第1号被保険者なので、配偶者は第3号ではない。

1 Dさんの被扶養配偶者と認められれば、Dさんの夫は国民年金の第3号被保険者となる。

納付済期間と免除期間は14年

2 Dさんが保険料を納付したのは10年間で、納付済期間は10年です。満たないため、障害基礎年金を受給できない。

3 Dさんが1級の障害基礎年金を受給することになった場合、その額は老齢基礎年金の満額の1, 25倍となる。 2級は老齢基礎年金と同額

4 Dさんの障害が国民年金法に定め、**障害手当金**を受給できる場合がある。

障害手当金は、厚生年金の支給

5 Dさんの娘は義務教育を修了しているため、受給する障害基礎年金に、子の加算はない。

加算がある。

子とは：18歳到達年度の末日まで&20歳未満の障害等急1級または2級

練習問題G 1 - 5 3

労働者災害補償保険に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 労災保険の保険給付は、「業務災害に関する保険給付」と「二次健康診断等給付」の2種類である。
- 2 労災保険と雇用保険は労働保険と総称されるが、保険料の納付はそれぞれで行われる。
- 3 労災保険は、基本的に労働者を1人でも使用する事業は、適用事業として労災保険法の適用を受ける。
- 4 労災保険の適用事業所に使用されている労働者のうち、正規職員のみが業務上災害で負傷をした場合に保険給付を受けることができる。
- 5 労災保険の保険給付の決定について不服がある者は、都道府県に設置されている労働保険審査会に審査請求を行うことができる。

練習問題G 1 - 5 3

労働者災害補償保険に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1 労災保険の保険給付は、「業務災害に関する保険給付」と「二次健康診断等給付」の2種類である。3 → 4 種類へ

2 労災保険と雇用保険は労働保険と総称されるが、保険料の納付はそれぞれで行われる。一体のものとして

3 労災保険は、基本的に労働者を1人でも使用する事業は、適用事業として労災保険法の適用を受ける。

4 労災保険の適用事業所に使用されている労働者のうち、正規職員のみが業務上災害で負傷をした場合に保険給付を受けることができる。非正規、パート、アルバイトも含む。

5 労災保険の保険給付の決定について不服がある者は、都道府県に設置されている労働保険審査会に審査請求を行うことができる。

審査請求は、都道府県労働局の労働者災害補償保険審査官。

再審査請求は、厚生労働省の労働保険審査会。

不服申し立てをしなくても裁判所に出訴できる。

(生活保護等とは違う。)

練習問題C 2-54

雇用保険に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 1週間の所定労働時間が20時間未満の者でも、同一事業に継続して31日以上雇用されていれば、雇用保険が適用される。
- 2 65歳以後に新たに雇用された労働者は、雇用保険の適用対象となる。
- 3 求職者給付（基本手当）の支給額は、年齢や被保険者期間に関わらず、一律である。
- 4 雇用保険の保険料について、失業等給付については事業主の保険料負担はなく、労働者の保険料で賄っている。
- 5 育児休業を取得した労働者には、雇用継続給付から育児休業給付金が支給される。

練習問題C 2-54

雇用保険に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。**適用除外者は、20時間未満と31日未満**

されない！！

1 1週間の所定労働時間が**20時間未満の者**でも、同一事業に継続して31日以上雇用されていれば、雇用保険が適用**される**。

2 65歳以後に新たに雇用された労働者は、雇用保険の適用対象となる。2017年1月1日以降、対象に。

3 求職者給付（基本手当）の支給額は、年齢や被保険者期間に関わらず、**一律**である。**離職直前6か月の賃金、年齢等**

4 雇用保険の保険料について、**失業等給付**については事業主の保険料負担はなく（**労使折半！！**）、労働者の保険料で賄っている。**雇用保険二事業は事業主のみ負担**

5 育児休業を取得した労働者には、雇用**継続**給付から育児休業給付金が支給される。

2020年4月から独立。育児休業給付から支給される。

練習問題D 2-50

社会保障の歴史に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1 ドイツでは、1880年代に世界で最初の社会保険制度を実施する一方で、社会主義運動を厳しく弾圧する「飴と鞭」の政策が行われた。

2 イギリスは、1601年に制定されたエリザベス救貧法により、劣等処遇の原則が導入されるとともに、救貧行政の中央集権化が確立された。

3 スウェーデンにおいて1930年代に制定された社会保障法は、社会保障という言葉の世界で最初に用いた法律とされている。

4 イギリスでは、1990年代にサッチャー政権が効率と公正の両立を目指す「第三の道」を掲げ、就労支援を重視する施策を展開した。

5 日本では、社会保険としての医療保険、年金保険、労災保険、失業保険は、いずれも第二次世界大戦前又は大戦中から制度化され、実施されてきた。

練習問題D 2-50

社会保障の歴史に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1 ドイツでは、1880年代に世界で最初の社会保険制度を実施する一方で、社会主義運動を厳しく弾圧する「飴と鞭」の政策が行われた。

2 イギリスは、1601年に制定されたエリザベス救貧法により、劣等処遇の原則が導入されるとともに、救貧行政の中央集権化が確立された。→1834年 新救貧法の内容

3 スウェーデンにおいて1930年代に制定された社会保障法は、社会保障という言葉の世界で最初に用いた法律とされている。

→アメリカの内容。

ブレア政権！！

4 イギリスでは、1990年代にサッチャー政権が効率と公正の両立を目指す「第三の道」を掲げ、就労支援を重視する施策を展開した。「第三の道」はアンソニー・ギデンズ

5 日本では、社会保険としての医療保険、年金保険、労災保険、失業保険は、いずれも第二次世界大戦前又は大戦中から制度化され、実施されてきた。労災と失業保険は戦後 1947年

練習問題H 1－55

諸外国における社会保障制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 スウェーデンでは、原則として、自己負担なしで介護サービスを利用することができる。
- 2 ドイツでは、日本の制度を手本として、2000年代に公的介護保険制度が導入された。
- 3 イギリスの国民保健サービス（NHS）は、社会保険方式に基づく保険料を主な財源としている。
- 4 フランスの社会保障制度は、社会サービス方式を採用しており、全国民共通の単一の制度によって運営されている。
- 5 アメリカは全国民を対象とする公的医療保障制度を持たないが、オバマ政権の下で成立した医療保険改革法により、医療保障を受けられる国民の範囲が広がった。

練習問題H 1-55

諸外国における社会保障制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 スウェーデンでは、原則として、自己負担なしで介護サービスを利用することができる。上限額をマックスタクサ
- 2 ドイツでは、日本の制度と同様として、2000年代に公的介護保険制度が導入された。

1994年4月！！日本がドイツを参考に！！

- 3 イギリスの国民保健サービス（NHS）は、社会保険方式に基づき、保険料を主な財源としている。租税が8割（保険は少し）
- 4 フランスの社会保障制度は、社会サービス方式を採用しており、全国民共通の単一の制度によって運営されている。

年金と医療保険は職域で分立。介護は税方式。

- 5 アメリカは全国民を対象とする公的医療保障制度を持たないが、オバマ政権の下で成立した医療保険改革法により、医療保障を受けられる国民の範囲が広がった。